

関西国際大学学則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 関西国際大学（以下、「本学」という。）は教育基本法、学校教育法、及び学校法人濱名山手学院の教育ミッションに基づき、グローバルな視野に立った教養と専門的知識・技術を修得し、安全な社会やコミュニティづくりに向けて総合的に活用できる人材を育成することを目的とする。

2 各学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、本学学位規則に定める。

(教育目標)

第1条の2 前条に規定する目的を実現するために、本学は次の各号に定める力・資質を修得・涵養し、総合的に活用できる人材を養成することを教育目標とする。

- (1) 自律的で主体的な態度（自律性）
- (2) 社会に能動的に貢献する姿勢（社会的貢献性）
- (3) 多様な文化や背景を理解し受け容れる能力（多様性理解）
- (4) 問題発見・解決力
- (5) コミュニケーションスキル
- (6) 専門的知識・技能の活用力

(2 削除)

2 本条に規定する教育目標の達成方法及び評価方法は、別に定める。

(自己評価等)

第2条 本学は、教育水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項に定める評価を行うにあたっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

3 本学は、第1項の点検及び評価の結果並びに認証評価の結果を踏まえ、教育研究活動等について不断の見直しを行うものとする。

第2章 学部・学科、学生定員及び修業年限

(学部・学科及び学生定員)

第3条 本学において設置する学部・学科・専攻及びその学生定員は次のとおりとする。

学部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	175人	20人	740人
心理学部	心理学科	125人	—	500人
教育学部	教育福祉学科	150人	—	600人
	福祉学専攻	30人	—	120人
	こども学専攻	120人	—	480人
国際コミュニケーション学部	グローバルコミュニケーション 学科	75人	—	300人
	観光学科	80人	—	320人
保健医療学部	看護学科	100人	—	400人
社会学部	社会学科	100人	—	400人

(短期大学部)

第4条 (削 除)

(大学院)

第4条の2 本学に大学院を置く。

2 大学院に関することは、別に定める。

(別科)

第4条の3 本学に別科を置く。

2 別科に関することは別に定める。

(修業年限及び在学年限)

第5条 本学の修業年限は4年とする。

2 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、第14条及び第15条の規定により入学した学生は、在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第3章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第6条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学 期)

第7条 学年を次の4学期に分ける。

春学期	4月1日から7月31日まで
夏学期(集中)	8月1日から9月30日まで
秋学期	10月1日から翌年1月31日まで
冬学期(集中)	2月1日から3月31日まで

(休業日)

第8条 休業日は、次のとおりとする

日曜日

国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

夏期休業日 8月1日から8月31日まで

冬期休業日 12月24日から翌年1月6日まで

春期休業日 3月21日から3月31日まで

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学、退学及び休学

(入学の時期)

第9条 入学の時期は、春学期または秋学期の始めとする。

(入学資格)

第10条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を終了した者を含む)

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者

(7) その他、相当の年齢に達し、本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学の出願)

第11条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。

2 その他提出の時期、方法、提出すべき書類等については、別に定める。

(入学者の選考)

第12条 前条の入学者の選考は、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第165条の2第1項第3号の規定により定める方針に基づき、公正かつ妥当な方法により、別に定めるところにより、適切な体制を整えて行うものとする。

(入学手続及び入学許可)

第13条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は所定の期日までに、誓約書、身元保証書その他本学所定の書類を提出するとともに、所定の納付金を納入しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第14条 本学は、第3条に定める編入学定員の枠内又は学部等の収容定員に欠員のある場合、編入学を志願する者に対し、別に定める選考の上、3年次に学長が入学を許可することができる。

2 編入学の入学資格は、次の各号の一に該当するものとする。

(1) 短期大学を卒業した者

(2) 他の大学において、2年以上在学し、62単位以上修得した者

(3) 大学を卒業した者

(4) 専修学校の専門課程を修了した者

(5) 高等専門学校専門課程を修了した者

3 その他、編入学について必要な事項は、別に定める。

(再入学・転入学)

第15条 本学は、学部等の収容定員に欠員のある場合、再入学又は転入学を志願する者に対し、別に定める選考の上、相当年次に学長が入学を許可することができる。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(転学部・転学科・転専攻)

第16条 転学部・転学科・転専攻を希望する者がある時は、選考の上、学長が許可することがある。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

(退学)

第17条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(休学)

第18条 疾病その他やむを得ない事情により3ヵ月以上修学することのできない者は、学長の許可を得て休学をすることができる。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第19条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし特別の事由がある場合は、引き続き更に1年を限度として延長を認めることができる。

2 休学の期間は通算して2年を超えることができない。

3 前2項の規定にかかわらず、母国の兵役により休学する場合は、2年を限度に、前2項の休学限度期間に加えることができる。

4 休学の期間は第5条第2項の在学年限に算入しない。

(留学)

第20条 外国の大学又は短期大学で学修を志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項により留学する期間は、原則として3ヶ月以上1年以内とし、2年を限度とする。

3 第1項により留学する者は、許可された期間のうち1年を限度として、第33条に定める在学年限に算入することができる。

4 本条に定めるもののほか、留学について必要な事項は、別に定める。

(復学)

第 21 条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(除 籍)

第 22 条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 第 5 条第 2 項および第 3 項に定める在学年限を超えた者
- (2) 第 19 条第 2 項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (3) 授業料等の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (4) 死亡または長期にわたり行方不明の者

2 除籍となった者の復籍については別に定める。

第 5 章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第 23 条 授業科目を分けて、専門教育科目、基盤教育科目とする。

- 2 授業科目の種類、単位数等は別表第 1-1 から第 1-7 のとおりとする。
- 3 前 1 項に定めるもののほか、教員免許状取得に必要な科目を置く。
- 4 前 3 項の授業科目の種類、単位数等は別表第 2 のとおりとする。

(授業期間)

第 24 条 1 年間の授業を行う期間は、35 週にわたることを原則とする。

(各授業科目の授業期間)

第 24 条の 2 各授業科目の授業は、十分な教育効果を上げることができるよう、8 週、10 週、15 週その他の大学が定める適切な期間を単位として行うものとする。

(授業を行う学生数)

第 24 条の 3 一の授業科目について同時に授業を行う学生数は、授業の方法及び施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分に上げられるような適当な人数とするものとする。

(単位の計算方法)

第 25 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、第 25 条の 2 に規定する授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、おおむね 15 時間から 45 時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって 1 単位として単位数を計算するものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作、課題研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(授業の方法)

第 25 条の 2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第 1 項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 文部科学大臣が別に定めるところにより、第 1 項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

(単位の授与)

第 26 条 授業科目を履修した学生に対しては、試験その他の大学が定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えるものとする。

(学修の評価)

第 27 条 試験等の評価は Grade Point (以下 G P という。) を用い、4 (秀)、3 (優)、2 (良)、1 (可)、0 (不可)、または認定 (G P の対象外) をもって表わし、1 (可) 以上あるいは認定を合格とする。

(連携開設科目に係る単位の認定)

第 27 条の 2 学生が他の大学において履修した連携開設科目について修得した単位を、本学の授業科目の履修により修得したものとみなすものとする。

(入学前の既修得単位等の取扱い)

第 28 条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った他の大学又は短期大学における学修又は文部科学大臣が別に定める学修を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を認定することができる。

2 前項の規定により修得したものとみなす又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、当該大学において修得した単位（第 27 条の 2 の規定により修得したものとみなすものとする単位を含む。）以外のものについては、第 29 条第 1 項、第 30 条及び第 31 条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

3 前 2 項の単位認定の取扱いについては、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 29 条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものと認定することができる。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

3 本学の設置する他の学部学科において履修した授業科目について修得した単位については、第 1 項の規定を準用する。

(外国の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 30 条 本学において教育上有益と認めるときは、外国の大学又は短期大学との協議により、学生が休学することなく当該外国の大学又は短期大学において学修することを認めることがある。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 31 条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他本学が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を認定することができる。

2 前項により認定できる単位数は、第 29 条第 1 項により本学において修得したものと認定する単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

3 前 2 項の単位認定の取扱いについては、別に定める。

第 32 条 第 29 条、第 30 条及び第 31 条の規定により他の大学又は短期大学あるいは外国の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものと認定することができる単位数は、すべてを合わせて 60 単位を超えない範囲とする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第 32 条の 2 学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることがある。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

第 6 章 卒業等

(卒業の要件)

第 33 条 本学を卒業するためには、学生は、休学期間及び特別履修期間を除いて、4 年以上在学し、別表第 1 に定めるところにより、126 単位以上を取得しなければならない。

2 前項の卒業の要件として修得すべき 126 単位のうち、第 25 条の 2 第 2 項の授業の方法により修得する単位数は 60 単位を超えないものとする。

3 授業の一部を、第 25 条の 2 第 2 項に定める授業方法により実施する場合は、前項に定める単位数への加算を要さない。

(卒業)

第34条 本学に休学期間及び特別履修期間を除いて、4年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 卒業の期日は、3月31日又は9月30日とする。

(学位)

第35条 前条の規定に基づき、本学を卒業した者に対しては、学士の学位を授与する。

2 学位には、専攻分野の名称を付記するものとする。

3 前項の専攻分野の名称は、別に定める。

第7章 資格

(免許状・資格の種類)

第36条 本学において取得することができる免許状及び資格の種類は、次のとおりである。

経営学部	経営学科	……………	中学校教諭一種免許状・社会	
		……………	高等学校教諭一種免許状・公民	
心理学部	心理学科	……………	中学校教諭一種免許状・社会	
		……………	高等学校教諭一種免許状・公民	
		……………	認定心理士（日本心理学会）	
		……………	公認心理師国家試験受験資格	
教育学部	教育福祉学科			
		福祉学専攻	……………	社会福祉士国家試験受験資格
			……………	保育士資格
	こども学専攻	……………	特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)	
			……………	保育士資格
			……………	幼稚園教諭一種免許状
国際コミュニケーション学部	グローバルコミュニケーション学科	……………	中学校教諭一種免許状・英語	
		……………	高等学校教諭一種免許状・英語	
		……………	保健師国家試験受験資格	
		……………	助産師国家試験受験資格	
保健医療学部	看護学科	……………	看護師国家試験受験資格	
		……………	看護師国家試験受験資格	
社会学部	社会学科	……………	高等学校教諭一種免許状・情報	

(教員免許状の取得)

第37条 教員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 教員免許状を取得しようとする者は、別に定める実習指導料及び教育実習委託費を納入しなければならない。

3 その他、教員免許状を取得するために必要な事項は、別に定める。

第38条 (削除)

(公認心理師受験資格の取得)

第38条の2 公認心理師受験資格を希望する者は、公認心理師法が定める要件を満たさなければならない。

2 公認心理師受験資格に関する詳細は別に定める。

(認定心理士資格の取得)

第39条 認定心理士資格を取得しようとする者は、日本心理学会と人間科学部人間心理学科が定める

所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、認定心理士資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

(保育士資格の取得)

第39条の2 保育士資格を取得しようとする者は、児童福祉法及び同法施行規則に定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、保育士資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

(社会福祉士受験資格の取得)

第39条の3 社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法並びに同法施行規則に定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、社会福祉士受験資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程の設置)

第39条の4 本学に一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程(以下、「認定課程」という。)をおく。

2 認定課程を修了し、社会福祉士の登録を受けた者については、本学が一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟に申請することにより、「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程修了者」として修了証の交付を受けることができる。

3 認定課程の履修等に関する事項は、別に定める。

第39条の5 保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学が定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

第8章 入学検定料、入学金、授業料等納付金

(入学検定料等の金額)

第40条 本学の入学検定料、入学金、授業料等の金額は別表第3のとおりとする。

(授業料等の納入期)

第41条 授業料等は年額の2分の1ずつを次の2期に分けて納入しなければならない。

区 分	納 入 期
1期(4月から9月まで)	4月中
2期(10月から翌年3月まで)	10月中

2 やむを得ない事情によって、授業料等の分納・延納を希望する学生の取扱いについては、別に定める。

(退学及び停学の場合の授業料等)

第42条 学期の途中で退学し又は停学となった者の当該納入期分の授業料及び教育改善費は納入しなければならない。

2 停学期間中の授業料及び教育改善費は納入しなければならない。

(休学の場合の授業料等)

第43条 休学を許可され又は命ぜられた者については、休学した月の翌月から復学する月の前月までの期間、授業料を納入するものとする。ただし、この場合の授業料の額は、年額で18万円とし、その12分の1をもって月額として算定する。

(復学の場合の授業料等)

第44条 復学を許可された者については、復学した月から授業料等を納入するものとする。ただし、この場合の授業料等の額は、第40条に定める授業料等(年額)の12分の1をもって月額として算定する。

(学年の途中で卒業する場合の授業料等)

第45条 学年の途中で卒業する者は、卒業する見込みの月までの授業料等を納入するものとする。た

だし、この場合の授業料等の額は、第 44 条但書に準ずるものとする。

(納入した授業料等)

第 46 条 納入した入学検定料、入学金及び授業料等は、原則として返還しない。

(科目等履修生の入学検定料及び授業料等)

第 47 条 科目等履修生の入学検定料及び授業料等については、別に定める。

第 9 章 教育研究実施組織

(職員組織)

第 48 条 本学に学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員その他必要な職員を置く。

2 本学に、副学長、学長補佐を置くことができる。

(教育研究実施組織等)

第 48 条の 2 本学は、その教育研究上の目的を達成するため、その規模並びに授与する学位の種類及び分野に応じ、必要な教員及び事務職員等からなる教育研究実施組織を編制する。

2 教育研究実施組織を編制するにあたっては、本学の教育研究活動等の運営が組織的かつ効果的に行われるよう、教員及び事務職員等相互の適切な役割分担の下での協働や組織的な連携体制を確保しつつ、教育研究に係る責任の所在を明確にする。

3 学生に対し、課外活動、修学、進路選択及び心身の健康に関する指導及び援助等の厚生補導を組織的に行うため、専属の職員等を置く組織を編制する。

4 教育研究実施組織及び前項の組織の円滑かつ効果的な業務の遂行のための支援、大学運営に係る企画立案、当該大学以外の者との連携、人事、総務、財務、広報、情報システム並びに施設及び設備の整備その他の大学運営に必要な業務を行うため、専属の職員等を置く組織を編制する。

第 10 章 教授会、大学協議会及び委員会

(教授会)

第 49 条 本学の学部、それぞれ教授会を置く。

2 教授会は、教授、准教授、専任講師及び助教をもって構成する。

3 教授会は、学長が意思決定を行うために掲げる次の事項について審議し、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

4 教授会は、前項が規定するもののほか、教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 第 3 項第 3 号については、学長裁定により別に定める。

6 本条に定めるもののほか、教授会に関して必要な事項は、別に定める。

(大学協議会)

第 50 条 本学に、大学協議会を置く。

2 大学協議会は、学長、副学長、学長補佐、大学院研究科長、学部長、学長の指名する委員長、大学事務局長、大学事務局次長、部長及び学長の指名する職員をもって構成する。

3 大学協議会は、学長が意思決定を行うために掲げる次の事項について審議する。

(1) 学則その他学内諸規程の制定及び改廃に関する事項

(2) 教育・研究計画に関する事項

(3) 教員人事の基準に関する事項

(4) 学生の厚生補導及びその身分に関する事項

(5) 全学的及び学部間の連絡調整に関する事項

(6) その他、教育研究に関し学長が意見を求める事項

4 本条に定めるもののほか、大学協議会に関して必要な事項は、別に定める。

(委員会)

第 50 条の 2 本学に委員会を置く。

2 委員会に関する事項は、別に定める。

第 11 章 研究生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

(研究生)

第 51 条 本学において特定の事項について研究をすることを志願する者があるときは、選考の上、研究生として学長が入学を許可することがある。

2 その他、研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第 52 条 本学において特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて選考の上、科目等履修生として学長が履修を許可することがある。

2 科目等履修生には第 25 条、第 26 条及び第 27 条に基づき、本学の正規の単位及び評価を与える。

3 その他、科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。

(聴講生)

第 53 条 本学において特定の授業科目を受講することを志願する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて選考の上、聴講生として学長が受講を許可することがある。

2 聴講生は、当該科目を受講した場合も単位を取得することはできない。

3 その他、聴講生に関して必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第 54 条 外国人で大学等において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者は、選考の上、外国人留学生として学長が入学を許可することがある。

2 その他、外国人留学生について必要な事項は、別に定める。

第 12 章 賞 罰

(表 彰)

第 55 条 学生として表彰に値する行為があった者は、学長が表彰する。

(罰 則)

第 56 条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は次の各号の一に該当する学生に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由なくして出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第 13 章 学生寮

(学生寮)

第 57 条 本学に学生寮を置く。

2 学生寮に関して必要な事項は、別に定める。

第 14 章 公開講座

(公開講座)

第 58 条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため本学に公開講座を開設することができる。

2 その他、公開講座について必要な事項は、別に定める。

附 則

この学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による経営学部経営学科の収容定員は、平成 12 年度から平成 14 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度
			収容定員	収容定員	収容定員
経営学部	経営学科		1,000人	1,100人	1,200人

附 則

- 1 この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による人間学部人間行動学科及び英語コミュニケーション学科の収容定員は、平成 13 年度から平成 15 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
			収容定員	収容定員	収容定員
人間学部	人間行動学科		200人	400人	600人
	英語コミュニケーション学科		100人	200人	300人

- 3 第 4 条の規定による短期大学部は、平成 13 年 3 月 31 日に短期大学部に在学する者が短期大学部に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による経営学部経営学科及び総合ビジネス学科の収容定員は、平成 16 年度から平成 19 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
経営学部	経営学科		850人	550人	200人	0人
	総合ビジネス学科		150人	300人	500人	700人

附 則

- 1 この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による経営学部総合ビジネス学科、人間学部人間行動学科及び英語コミュニケーション学科の収容定員は、平成 17 年度から平成 20 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
経営学部	総合ビジネス学科		300人	480人	660人	660人
	(うち3年次編入学)		0人	30人	60人	60人
人間学部	人間行動学科		800人	800人	800人	800人
	英語コミュニケーション学科		350人	300人	250人	200人

3 平成 16 年 3 月 31 日に経営学部におかれている学科は、改正後の関西国際大学学則の規定にかかわらず平成 16 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者（以下この項に置いて「在学者」という。）及び平成 16 年 4 月 1 日 以後において在学者の属する年次に転入学、編入学又は再入学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

4 前 2 項に定めるもののほか、平成 16 年 3 月 31 日に経営学部におかれている学科の編入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 17 年度	平成 18 年度
経営学部	経営学科		3年次編入学定員 30人	3年次編入学定員 0人

附 則

- 1 この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による人間学部人間行動学科、人間心理学科及び教育福祉学科の収容定員は、平成 18 年度から平成 21 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間学部	人間行動学科		600人	400人	200人	0人
	人間心理学科		100人	200人	300人	400人
	教育福祉学科		100人	200人	300人	400人

附 則

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による人間科学部ビジネス行動学科及び人間心理学科、教育学部教育福祉学科及び英語教育学科、人間学部人間行動学科、人間心理学科及び教育福祉学科、経営学部総合ビジネス学科の収容定員は、平成 19 年度から平成 22 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科 学部	ビジネス行動学科		150人	300人	450人	600人
	人間心理学科		115人	230人	345人	460人
教育学部	教育福祉学科		100人	200人	300人	400人
	英語教育学科		50人	100人	150人	200人
人間学部	人間行動学科		400人	200人	0人	0人
	人間心理学科		100人	100人	100人	0人
	教育福祉学科		100人	100人	100人	0人
	英語コミュニケーション学科		200人	100人	50人	0人
経営学部	総合ビジネス学科		510人	330人	150人	0人

附 則

- この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 35 条及び第 36 条の規定にかかわらず、改正前の学則による人間学部及び経営学部の各学科の学生が在籍する間の当該学生に関しては改正（平成 19 年 4 月 1 日）前の学則を適用する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 35 条については、平成 19 年度以降の入学生に対し適用する。

附 則

- この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 35 条及び第 36 条の規定にかかわらず、改正前の学則による人間科学部ビジネス行動学科の学生が在籍する間の当該学生に関しては、改正（平成 23 年 4 月 1 日）前の学則を適用する。
- 第 3 条の規定による人間科学部経営学科、ビジネス行動学科及び人間心理学科、教育学部教育福祉学科及び英語教育学科の収容定員は、平成 23 年度から平成 26 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科 学部	経営学科		150人	300人	450人	600人
	ビジネス行動学科		450人	300人	150人	0人
	人間心理学科		460人	460人	460人	460人
教育学部	教育福祉学科		600人	600人	600人	600人
	英語教育学科		200人	200人	200人	200人

附 則

- この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 本学における平成 24 年度から平成 27 年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
		収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科学部	経営学科	250人	370人	490人	440人
	ビジネス行動学科	300人	150人	0人	0人
	人間心理学科	470人	480人	490人	500人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語教育学科	200人	200人	200人	200人

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 11 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 9 月 1 日から施行する。ただし、改正後の第 19 条及び第 22 条については、この学則の施行日において本学に在籍する学生に対し適用する。

附 則

- この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 人間科学部経営学科及び教育学部英語教育学科の学生が在籍する間の当該学生に関しては、改正（平成 31 年 4 月 1 日）前の学則を適用する。
- 第 3 条の規定による人間科学部経営学科、人間心理学科、教育学部教育福祉学科、英語教育学科保健医療学部看護学科、経営学部経営学科、国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科の、平成 31 年度から平成 34 年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年
		収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科学部	経営学科	340人	240人	120人	0人
	人間心理学科	500人	500人	500人	500人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語教育学科	150人	100人	50人	0人
保健医療学部	看護学科	320人	320人	320人	320人
経営学部	経営学科	100人	200人	320人	440人
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	50人	100人	150人	200人

附 則

- この学則は、令和2年 4月 1日から施行する。
- 第3条の規定による人間科学部経営学科、人間心理学科、教育学部教育福祉学科、英語コミュニケーション学科、保健医療学部看護学科、経営学部経営学科、国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科、現代社会学部総合社会学科、観光学科、都市交流学科の、令和2年度から令和5年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人間科学部	経営学科	240人	120人	0人	0人
	人間心理学科	500人	500人	500人	500人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語コミュニケーション学科	100人	50人	0人	0人
保健医療学部	看護学科	340人	360人	380人	400人
経営学部	経営学科	200人	320人	440人	440人
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	100人	150人	200人	200人
現代社会学部	総合社会学科	340人	340人	340人	340人
	観光学科	480人	480人	480人	480人
	都市交流学科	0人	0人	0人	0人

- 別表第3の規定に関わらず、令和元年度以前に神戸山手大学現代社会学部に入学した学生の学納金については、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科		授業料	教育充実費
現代社会学部	総合社会学科	780,000円	300,000円
	観光学科	780,000円	300,000円
	都市交流学科	780,000円	300,000円

附 則

- この学則は、令和3年 4月 1日から施行する。
- 第3条の規定による人間科学部経営学科、人間心理学科、教育学部教育福祉学科、英語コミュニケーション学科、保健医療学部看護学科、経営学部経営学科、国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科、観光学科、現代社会学部総合社会学科、観光学科、都市交流学科の、令和3年度から令和6年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
心理学部 (人間科学部)	経営学科	120人	0人	0人	0人
	心理学科 (人間心理学科)	500人	500人	500人	500人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語コミュニケーション学科	50人	0人	0人	0人
保健医療学部	看護学科	360人	380人	400人	400人
経営学部	経営学科	395人	590人	665人	740人
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	175人	250人	275人	300人
	観光学科	80人	160人	240人	320人

現代社会学部	総合社会学科	260人	180人	90人	0人
	観光学科	360人	240人	120人	0人
	都市交流学科	0人	0人	0人	0人
社会学部	社会学科	100人	200人	300人	400人

3 心理学部心理学科の名称は、令和3年度生から適用する。

附 則

- この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 第3条の規定による人間科学部経営学科、人間心理学科、教育学部教育福祉学科、英語コミュニケーション学科、保健医療学部看護学科、経営学部経営学科、国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科、観光学科、現代社会学部総合社会学科、観光学科、社会学部社会学科の、令和4年度から令和7年度までの収容定員は、次のとおりとする

学部・学科		年 度			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
心理学部 (人間科学部)	経営学科	0人	0人	0人	0人
	心理学科 (人間心理学科)	500人	500人	500人	500人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語コミュニケーション学科	0人	0人	0人	0人
保健医療学部	看護学科	380人	400人	400人	400人
経営学部	経営学科	590人	665人	740人	740人
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250人	275人	300	300人
	観光学科	160人	240人	320人	320人
現代社会学部	総合社会学科	180人	90人	0人	0人
	観光学科	240人	120人	0人	0人
社会学部	社会学科	200人	300人	400人	400人

3 心理学部心理学科の名称は、令和3年度生から適用する。

附 則

- この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科の名称は、令和5年度生から適用する。

別表第1-1 経営学部経営学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
		必修	選択			
基 盤 教 育 科 目	K U I S S s ベ ー シ ッ ク ス	評価と実践 I	1	} 必修8単位		
		評価と実践 II	1			
		リーダーシップ演習				1
		仕事とキャリア形成 I	2			
		仕事とキャリア形成 II				2
		仕事とキャリア形成 III				2
		初年次セミナー	1			
		基礎演習	1			
		学習技術	1			
		リサーチ入門	1			
	コ モ ン ベ ー シ ッ ク ス	第1 外国語	基礎英語		2	} 選択必修 8単位以上 (第1外国語か ら5単位以上) (留学生は選 択科目)
			総合英語 I		2	
			総合英語 II		2	
			オーラルイングリッシュ I		1	
			オーラルイングリッシュ II		1	
			オーラルイングリッシュ III		1	
			インテンシブイングリッシュ I		1	
		インテンシブイングリッシュ II		1		
第2 外国語		中国語 I		2	}	
		中国語 II		2		
		韓国・朝鮮語 I		2		
		韓国・朝鮮語 II		2		
		マレー語		1		
		インドネシア語		1		
留 学 生 対 象		日本語 I		2	} 選択必修 10単位以上 日本語能力試験N1の 合格者は10単位中2単 位を認定、8単位履修	
		日本語 II		2		
		日本語 III		2		
		日本語 IV		2		
	日本語 V		2			
	アカデミック日本語 I		1			
	アカデミック日本語 II		1			
	日本語ライティング I		1			
	日本語ライティング II		1			
	ビジネス日本語 I		1			
	ビジネス日本語 II		1			
	専門日本語 I		1			
	専門日本語 II		1			
情 報	ICTリテラシー	2		} 必修科目含み2単 位以上		
	データサイエンス		2			
	ICT活用A		2			
	ICT活用B		2			
	ICT活用C		2			
ス ポ ー ツ 健 康 と	生涯スポーツ I		1			
	生涯スポーツ II		1			
リ ベ ラ ル ア ー ツ	人 間 の 理 解	人間学 I	2	} 必修科目含み4単 位以上		
		人間学 II	2			
		倫理と社会生活			2	
		人権と法			2	
	社 会 と 生 活	近現代の歴史		2	} 選択必修 2単位以上	
		日本国憲法		2		
		国際社会と政治		2		
		社会階層と文化		2		
	科 学 と 生 活	環境と生活		2	} 選択必修 2単位以上	
		生命と倫理		2		
	情報と社会		2			

別表第1-1 経営学部経営学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
基盤教育科目	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ		1		※
		グローバルスタディⅡ		2		※
		グローバルスタディⅢ		3		※
		グローバルスタディⅣ		4		※
		地域研究(北米圏)		2		
		地域研究(アジア圏)		2		
		日本事情		2		
		日本文化論		2		
	コミュニティスタディ	サービスラーニングA		1		※
		サービスラーニングB		2		※
		地域防災減災論		2		
		災害と安全 ボランティア論		2		
	特別研究	特別研究Ⅰ		1		
		特別研究Ⅱ		2		
		特別研究Ⅲ		3		
		特別研究Ⅳ		4		
課題研究	課題研究Ⅰ		4			
	課題研究Ⅱ		8			
	課題研究Ⅲ		12			
	課題研究Ⅳ		16			

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。(自由科目を除く)

※を付した科目から2単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-2 心理学部心理学科

授業科目 の区分等	授業科目	単位数		卒業要件単位数	備考
		必修	選択		
科基礎	心理学概論	4		} 6単位	
	統計学Ⅰ	2			
基幹科目	心理学研究法Ⅰ	2		} 20単位以上	
	心理学研究法Ⅱ	2			
	心理学実験		4		
	心理学統計法		2		
	臨床心理学概論Ⅰ		2		
	臨床心理学概論Ⅱ		2		
	司法・犯罪心理学		2		
	矯正心理学		2		
	災害心理学Ⅰ		2		
	災害心理学Ⅱ		2		
	スポーツ心理学		2		
	社会学概論		2		
	教育学概論		2		
	犯罪学概論		2		
	健康・医療心理学		2		
	教育・学校心理学		2		
	発達心理学		2		
	学習・言語心理学		2		
	知覚・認知心理学		2		
	社会・集団・家族心理学		2		
	精神疾患とその治療		2		
	コミュニケーション演習		2		
	産業・組織心理学		2		
	消費者心理学		2		
	公認心理師の職責		2		
	障害者(児)心理学		2		
	専門教育科目	環境心理学			
神経・生理心理学			2		
ポジティブ心理学			2		
心理演習			4		
心理学的支援法			4		
感情・人格心理学			2		
心理的アセスメント			4		
教育相談			2		
福祉心理学			2		
人体の構造と機能及び疾病			2		
関係行政論			2		
心理実習			3		
犯罪関連法論			4		
捜査心理学			2		
リスク心理学			2		
防災・防犯心理学			2		
被災者・被害者心理学			2		
犯罪・災害報道論			2		
国際犯罪論			2		
メンタルトレーニング			2		
応用犯罪心理学			2		
広告心理学			2		
メディア心理学			2		
現代社会論			2		
現代家族論			2		
教育社会学			2		
統計学Ⅱ			2		
データ解析			2		
心理調査上級実習			4		
外書講読		2			
近代社会論		2			
展開科目					

別表第1-2 心理学部心理学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
専門教育科目	展開科目	法律学概論		2	}		
		日本文化史		2			
		日本史概説		2			
		外国史概説		2			
		地理学		2			
		人文地理		2			
		経済学		2			
		国際経済論		2			
		マーケティング		4			
		国際防災協力		2			
		セーフティマネジメント論		2			
		危機管理論		2			
		サイバー犯罪論Ⅰ		2			
		サイバー犯罪論Ⅱ		2			
		企業危機管理論		2			
		コミュニティ防災		2			
		防災・復興組織論		2			
	ファシリテーション演習		2				
	総合演習	専門演習Ⅰ	2		}	必修12単位	
		専門演習Ⅱ	2				
専門演習Ⅲ		2					
専門演習Ⅳ		2					
卒業研究		4					
インターンシップⅠ			1	※			
インターンシップⅡ			2	※			
インターンシップⅢ		4	※				
科目自由	公務員養成演習Ⅰ		1		自由科目		
	公務員養成演習Ⅱ		2		自由科目		

別表第1-2 心理学部心理学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
基盤教育科目	K U I S S s ベー シ ッ ク ス	評価と実践Ⅰ	1	1	} 必修10単位		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習					
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅱ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅲ					
		初年次セミナー	1				
		基礎演習	1				
		学習技術	1				
	リサーチ入門	1					
	コ モ ン ベ ー シ ッ ク ス	第1外国語	基礎英語		2	} 選択必修 8単位以上 (第1外国語から 5単位以上) (留学生は選択 科目)	
			総合英語Ⅰ		2		
			総合英語Ⅱ		2		
			オーラルイングリッシュⅠ		1		
			オーラルイングリッシュⅡ		1		
			オーラルイングリッシュⅢ		1		
		第2外国語	インテンシブイングリッシュⅠ		1		
			インテンシブイングリッシュⅡ		1		
			中国語Ⅰ		2		
			中国語Ⅱ		2		
韓国・朝鮮語Ⅰ				2			
留 学 生 対 象	留 学 生 対 象	韓国・朝鮮語Ⅱ		2	} 選択必修10単位以上 日本語能力試験N1の 合格者は10単位中2 単位を認定、8単位履 修		
		マレー語		1			
		インドネシア語		1			
		日本語Ⅰ		2			
		日本語Ⅱ		2			
		日本語Ⅲ		2			
		日本語Ⅳ		2			
		日本語Ⅴ		2			
		アカデミック日本語Ⅰ		1			
		アカデミック日本語Ⅱ		1			
		日本語ライティングⅠ		1			
		日本語ライティングⅡ		1			
		ビジネス日本語Ⅰ		1			
		ビジネス日本語Ⅱ		1			
専門日本語Ⅰ		1					
専門日本語Ⅱ		1					
情 報	情 報	ICTリテラシー	2	} 必修科目含み 2単位以上			
		データサイエンス				2	
		ICT活用A				2	
		ICT活用B				2	
		ICT活用C				2	
健 康 と ス ポ ー ツ	健 康 と ス ポ ー ツ	生涯スポーツⅠ		1			
		生涯スポーツⅡ		1			
リ ベ ラ ル ア ー ツ	人 間 の 理 解	人間学Ⅰ	2	} 必修科目含み 6単位以上			
		人間学Ⅱ	2				
		倫理と社会生活 教育と人間形成				2	
		比較宗教論				2	
		人権と法				2	
	社 会 と 生 活	社 会 と 生 活	近現代の歴史				2
			社会階層と文化 国際社会と政治 日本国憲法				2

別表第1-2 心理学部心理学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考	
				必修	選択			
基盤教育科目	リベラルアーツ	科学 と 生活	環境と生活		2	} 選択必修 2単位以上		
			生命と倫理		2			
			情報と社会		2			
			食と健康		2			
		グ ロ ー バ ル ス タ デ イ	グローバルスタディⅠ		1			※ ※ ※ ※
			グローバルスタディⅡ		2			
			グローバルスタディⅢ		3			
			グローバルスタディⅣ		4			
			地域研究(北米圏)		2			
			地域研究(アジア圏)		2			
			日本事情		2			
			日本文化論		2			
		コ ミ ュ ニ テ ィ	サービスラーニングA		1			※ ※
			サービスラーニングB		2			
			ボランティア論		2			
			災害と安全		2			
地域防災減災論			2					
特 別 研 究	特別研究Ⅰ		1					
	特別研究Ⅱ		2					
	特別研究Ⅲ		3					
	特別研究Ⅳ		4					
課 題 研 究	課題研究Ⅰ		4					
	課題研究Ⅱ		8					
	課題研究Ⅲ		12					
	課題研究Ⅳ		16					

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。(自由科目を除く)

※を付した科目から2単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
基礎 科目		教育学概論	2		} 6単位	
		心理学概論Ⅰ	2			
		社会学概論	2			
専門 教育 科目	基 幹 科 目	統計学Ⅰ		2	} 20単位以上	
		統計学Ⅱ		2		
		臨床心理学Ⅰ		2		
		発達心理学		2		
		教育心理学		2		
		公教育論		2		
		児童家庭福祉		2		
		教育相談		2		
		社会福祉概論Ⅰ		2		
		社会福祉概論Ⅱ		2		
		障害者福祉論		2		
		老人福祉論		2		
		社会保障論		4		
		地域福祉論		4		
		ソーシャルワーク論Ⅰ		4		
		保育原理		2		
		社会的養護		2		
		こどもと健康		1		
		こどもと人間関係		1		
		こどもと環境		1		
		こどもと言葉		1		
		こどもと表現		1		
		保育内容総論		1		
		健康(指導法)		2		
		人間関係(指導法)		2		
		環境(指導法)		2		
		言葉(指導法)		2		
		表現(指導法)Ⅰ		1		
		表現(指導法)Ⅱ		1		
		幼児教育方法論		2		
		保育者論		2		
		初等国語科教育法		2		
		初等社会科教育法		2		
初等算数科教育法		2				
初等理科教育法		2				
初等生活科教育法		2				
初等音楽科教育法		2				
初等図画工作科教育法		2				
初等家庭科教育法		2				
初等体育科教育法		2				
幼児理解		2				
生徒・進路指導論		2				
教職概論		2				
教職特論		2				
展 開 科 目		精神保健学		2		
		医学一般		2		
		こども発達学		2		
		教育社会学		2		
		子どもの保健Ⅰ		2		
子どもの保健Ⅱ		1				

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考		
		必修	選択				
専門 教育科目	展 開 科 目	社会福祉基礎		2			
		公的扶助論		2			
		社会調査論Ⅰ		2			
		ソーシャルワーク論Ⅱ		4			
		ソーシャルワーク論Ⅲ		4			
		相談援助		1			
		ソーシャルワーク演習Ⅰ		2			
		ソーシャルワーク演習Ⅱ		2			
		ソーシャルワーク演習Ⅲ		2			
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1			
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1			
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		2			
		ソーシャルワーク実習指導Ⅳ		2			
		ソーシャルワーク実習Ⅰ		2			
		ソーシャルワーク実習Ⅱ		4			
		福祉サービスの組織と経営		2			
		保健医療サービス		2			
		更生保護制度		2			
		権利擁護と成年後見制度		2			
		子どもの食と栄養		2			
		家庭支援論		2			
		乳児保育Ⅰ		2			
		乳児保育Ⅱ		1			
		障害児保育Ⅰ		1			
		障害児保育Ⅱ		1			
		社会的養護内容		1			
		体育指導Ⅰ		1			
		体育指導Ⅱ		1			
		造形Ⅰ		1			
		造形Ⅱ		1			
		音楽Ⅰ・器楽		1			
		音楽Ⅱ・器楽		1			
		音楽Ⅲ・伴奏法		1			
		音楽Ⅳ・器楽		1			
		言語表現技術		1			
		保育実習Ⅰ事前事後指導①			1		
		保育実習Ⅰ事前事後指導②			1		
		保育実習Ⅱ事前事後指導			1		
		保育実習Ⅲ事前事後指導			1		
		保育実習Ⅰ(保育所)			2		
		保育実習Ⅰ(施設)			2		
		保育実習Ⅱ			2		
保育実習Ⅲ			2				
幼児指導法			2				
保育実践観察法			1				
子どもの家庭支援の心理学			2				
保育心理学演習			1				

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	学校経営論	2	48単位以上	※
		教育制度論	2		
		教育方法論	2		
		教育課程論	2		
		道徳教育の指導法	2		
		初等英語教育研究	2		
		インターンシップⅠ	2		
		インターンシップⅡ	2		
		特別活動の指導法	2		
		ボランティア実習	2		
		保育課程論	2		
		初等情報機器活用論	2		
		図画工作Ⅰ	1		
		図画工作Ⅱ	1		
		体育講義	2		
		国語Ⅰ	2		
		国語Ⅱ	2		
		社会Ⅰ	2		
		社会Ⅱ	2		
		算数Ⅰ	2		
		算数Ⅱ	2		
		理科Ⅰ	2		
		理科Ⅱ	2		
		生活	2		
		家庭	2		
		幼稚園教育実習Ⅰ	2		
		幼稚園教育実習Ⅱ	2		
		幼稚園教育実習事前事後指導	1		
		小学校教育実習Ⅰ	2		
		小学校教育実習Ⅱ	2		
		教育実習事前事後指導	1		
		教職実践演習(幼)	2		
		教職実践演習(小)	2		
		福祉科教育法Ⅰ	2		
		福祉科教育法Ⅱ	2		
		障害者教育総論	2		
		知的障害者の言語障害指導	2		
		知的障害者の自立活動の理論と実際	2		
		知的障害児における情報機器等の活用と指導	2		
		知的障害教育総論	2		
		障害児教育論	2		
		教育実習(特別支援学校)	3		
		知的障害者の心理・生理・病理	2		
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2		
		病弱者の心理・生理・病理	2		
		知的障害教育	2		
肢体不自由教育	2				
病弱教育	2				
肢体不自由教育総論	2				
病弱教育総論	2				
重複障害教育総論	2				
LD等教育総論	2				

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専門 教育 科目	展 開 科 目	聴覚障害・視覚障害教育総論		2	}	
		スクールソーシャルワーク論		2		
		スクールソーシャルワーク演習		1		
		スクールソーシャルワーク実習指導		1		
		スクールソーシャルワーク実習		2		
		英語発音指導法		2		
		板書技術		2		
		防災教育		2		
		特別支援教育基礎		1		
		総合的な学習の時間の指導法		1		
		外国語		2		
		外国語の指導法		2		
		英語音声学Ⅰ		2		
		英語音声学Ⅱ		2		
		英語学Ⅰ		2		
		英語学Ⅱ		2		
		英米文学概論		2		
		英語総合1		2		
		リーディング総合1		2		
		ライティング総合1		2		
		アドバンスト・コミュニケーション1		2		
		英語総合2		2		
		リーディング総合2		2		
		ライティング総合2		2		
		アドバンスト・コミュニケーション2		2		
		異文化理解		2		
		文化人類学		2		
		英語科教育法Ⅰ		2		
		英語科教育法Ⅱ		2		
		英語科教育法Ⅲ		2		
		英語科教育法Ⅳ		2		
		総 合 演 習		専門演習Ⅰ		
専門演習Ⅱ	2					
専門演習Ⅲ	2					
専門演習Ⅳ	2					
卒業研究	4					

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
基盤教育科目	ベ ー シ ツ ク ス K U I S S s	評価と実践Ⅰ	1		} 必修10単位		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習		1			
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅱ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅲ		2			
		初年次セミナー	1				
		基礎演習	1				
		学習技術	1				
		リサーチ入門	1				
	コ モ ン ベ ー シ ツ ク ス	第1外国語	基礎英語		2	} 選択必修 7単位以上 (第1外国語か ら5単位以上) (留学生は選択 科目)	
			総合英語Ⅰ		2		
			総合英語Ⅱ		2		
			オーラルイングリッシュⅠ		1		
			オーラルイングリッシュⅡ		1		
オーラルイングリッシュⅢ				1			
インテンシブイングリッシュⅠ				1			
インテンシブイングリッシュⅡ				1			
第2外国語		中国語Ⅰ		2			
		中国語Ⅱ		2			
		韓国・朝鮮語Ⅰ		2			
		韓国・朝鮮語Ⅱ		2			
		マレー語		1			
		インドネシア語		1			
		留学生対象	日本語Ⅰ		2		} 選択必修10単位 以上 日本語能力試験 N1の合格者は10 単位中2単位を認 定、8単位履修
	日本語Ⅱ		2				
	日本語Ⅲ		2				
	日本語Ⅳ		2				
	日本語Ⅴ		2				
	アカデミック日本語Ⅰ		1				
	アカデミック日本語Ⅱ		1				
	日本語ライティングⅠ		1				
	日本語ライティングⅡ		1				
	ビジネス日本語Ⅰ		1				
	ビジネス日本語Ⅱ		1				
	専門日本語Ⅰ		1				
	専門日本語Ⅱ		1				
情 報	ICTリテラシー	2		} 必修科目含み 4単位以上			
	データサイエンス	2					
	ICT活用A		2				
	ICT活用B		2				
	ICT活用C		2				
健 康 と ス ポ ー ツ	生涯スポーツⅠ		1				
	生涯スポーツⅡ		1				
リ ベ ラ ル ア ー ツ	人間の理解	2		} 必修科目含み 6単位以上			
	人間学Ⅰ	2					
	人間学Ⅱ		2				
	倫理と社会生活 教育と人間形成		2				
	比較宗教論		2				
	人権と法		2				

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
基盤教育科目	リベラルアーツ	社会と生活	近現代の歴史		2	} 選択必修 2単位以上
			社会階層と文化		2	
			国際社会と政治		2	
			日本国憲法		2	
		科学と生活	環境と生活		2	} 選択必修 2単位以上
			生命と倫理		2	
			情報と社会		2	
			食と健康		2	
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ		1		
		グローバルスタディⅡ		2		
		グローバルスタディⅢ		3		
		グローバルスタディⅣ		4		
		地域研究(北米圏)		2		
		地域研究(アジア圏)		2		
		日本事情		2		
		日本文化論		2		
	コミュニティ	サービスラーニングA		1	**	
		サービスラーニングB		2		
		ボランティア論		2		
		災害と安全		2		
	地域防災減災論		2			
特別研究	特別研究Ⅰ		1			
	特別研究Ⅱ		2			
	特別研究Ⅲ		3			
	特別研究Ⅳ		4			
課題研究	課題研究Ⅰ		4			
	課題研究Ⅱ		8			
	課題研究Ⅲ		12			
	課題研究Ⅳ		16			

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。(自由科目を除く)

※を付した科目から1単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-4 国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
		必修	選択			
専門教育科目	基礎科目	英語基礎1		2	必修18単位 選択必修4単位以上	
		リーディング1		2		
		ライティング1		2		
		オーラル・コミュニケーション1		2		
		英語基礎2		2		
		リーディング2		2		
		ライティング2		2		
		オーラル・コミュニケーション2		2		
		英語総合1	2			
		リーディング総合1	2			
		ライティング総合1	2			
		アドバンスト・コミュニケーション1	2			
		英語総合2	2			
		リーディング総合2	2			
		ライティング総合2	2			
	アドバンスト・コミュニケーション2	2				
	国際コミュニケーション概論	2				
	アカデミック英語		2			
	グローバル事情		2			
	総合英語Ⅰ		2			
	総合英語Ⅱ		2			
	総合英語Ⅲ		2			
	総合英語Ⅳ		2			
	インテンシブイングリッシュⅠ		1			
	インテンシブイングリッシュⅡ		1			
	インテンシブイングリッシュⅢ		1			
	基礎科目	異文化理解	2		必修8単位 選択必修4単位以上	
		経済学基礎	2			
		国際関係	2			
		国際協力キャリア論	2			
アジア研究			2			
日本研究			2			
言語と文化			2			
文化人類学			2			
経営学概論			2			
グローバルアントレプレナー論			2			
共生社会論		2				
展開科目	課題研究(グローバルリサーチ)	16		GS科目		
	日本のポップカルチャー		2			
	日本文学		2			
	経済学概論		4			
	マーケティング		4			
	ファイナンス		4			
	実践ビジネス英語Ⅰ		2			
	実践ビジネス英語Ⅱ		2			
	ビジネスプレゼンテーション		2			
	ホスピタリティマネジメント		2			
	ビジネスマナー		2			
	航空実務		2			
	ホテル実務		4			
	ツーリズム事情Ⅰ		2			
	ツーリズム事情Ⅱ		2			
	ツアーガイド実務		2			
	通訳入門		2			
	サービスラーニングⅠ		2			
	サービスラーニングⅡ		2			
	インターンシップⅠ		1			
インターンシップⅡ		2				
				CS科目		
				CS科目		
				CS科目		
				CS科目		

別表第1-4 国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科

授業科目の区分等		授業科目	単位数		卒業要件単位数	備考	
			必修	選択			
専門教育科目	総合演習	専門演習Ⅰ	2		} 必修10単位		
		専門演習Ⅱ	2				
		専門演習Ⅲ	2				
		卒業研究	4				
基盤教育科目	KUIS ベシックス	評価と実践Ⅰ	1		} 必修8単位		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習		1			
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅱ		2			
		仕事とキャリア形成Ⅲ		2			
		初年次セミナー	1				
		基礎演習	1				
		学習技術	1				
		リサーチ入門	1				
	コモンベシックス	第2外国語	中国語Ⅰ		2	} 選択必修10単位以上 日本語能力試験N1の合格者は10単位中2単位を認定、8単位履修	
			中国語Ⅱ		2		
			韓国・朝鮮語Ⅰ		2		
			韓国・朝鮮語Ⅱ		2		
			マレー語		1		
			インドネシア語		1		
		留学生対象	日本語Ⅰ		2		
			日本語Ⅱ		2		
			日本語Ⅲ		2		
			日本語Ⅳ		2		
			日本語Ⅴ		2		
			アカデミック日本語Ⅰ		1		
			アカデミック日本語Ⅱ		1		
			日本語ライティングⅠ		1		
			日本語ライティングⅡ		1		
			ビジネス日本語Ⅰ		1		
			ビジネス日本語Ⅱ		1		
専門日本語Ⅰ		1					
専門日本語Ⅱ		1					
情報	ICTリテラシー	2		} 必修4単位			
	データサイエンス	2					
	ICT活用A		2				
スポーツと健康	生涯スポーツⅠ		1				
	生涯スポーツⅡ		1				
リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ	2		} 必修4単位		
		人間学Ⅱ	2				
		倫理と社会生活		2			
		教育と人間形成		2			
		比較宗教論		2			
		人権と法		2			

別表第1-4 国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
		必修	選択			
基盤教育科目 リベラルアーツ	社会と生活	近現代の歴史		2	} 選択必修2単位以上	各領域から 2単位以上 (※1)
		社会階層と文化		2		
		国際社会と政治		2		
		日本国憲法		2		
	科学と生活	環境と生活		2	} 選択必修2単位以上	
		生命と倫理		2		
		情報と社会		2		
		食と健康		2		
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ		1	} 選択必修1単位以上	
		グローバルスタディⅡ		2		
		グローバルスタディⅢ		3		
		グローバルスタディⅣ		4		
		地域研究(北米圏)		2		
		地域研究(アジア圏)		2		
		日本事情		2		
		日本文化論		2		
	コミュニティスタディ	地域防災減災論		2	} 0単位(※2)	
		災害と安全		2		
		ボランティア論		2		
	特別研究	特別研究Ⅰ		1	}	
特別研究Ⅱ			2			
特別研究Ⅲ			3			
特別研究Ⅳ			4			
課題研究	課題研究Ⅰ		4	}		
	課題研究Ⅱ		8			
	課題研究Ⅲ		12			
	課題研究Ⅳ		16			

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。(自由科目を除く)

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

(※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。

(※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービスマーケティングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。

別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専門基礎科目	人間と健康	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	2		必修科目含み 22単位以上	
		形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	2			
		生化学	1			
		薬理学	1			
		臨床栄養学	1			
		免疫学	1			
		病態学	1			
		疾病・治療論Ⅰ(内科系)	1			
		疾病・治療論Ⅱ(外科系)	1			
		疾病・治療論Ⅲ(精神/老年)	1			
		疾病・治療論Ⅳ(母性/小児)	1			
		多職種連携医療論	1			
		遺伝学	1			
		生物学基礎		1		
	化学基礎		1			
心理学基礎		1				
	人間と環境	家族社会学		1	(人間と健 康から選 択科目1 単位以上 必要)	
		環境保健学	1			
		疫学	2			
		保健統計学	2			
		保健医療福祉行政論		2		
専門教育科目	基盤看護学	看護倫理Ⅰ	1			
		看護倫理Ⅱ	1			
		基礎看護学概論	2			
		基礎看護方法論(フィジカルアセスメント)	1			
		基礎看護技術Ⅰ(生活援助)	2			
		基礎看護技術Ⅱ(治療援助)	1			
		基礎看護技術Ⅲ(看護過程)	2			
		セイフティマネジメント	1			
		看護マネジメント	1			
	療養支援看護学	成人健康看護学概論	1		必修科目含み 70単位以上	
		急性・重症看護援助論	2			
		慢性看護援助論	2			
		急性・慢性看護技術演習	1			
		精神健康看護学概論	2			
		精神看護援助論	2			

別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専 門 科 目	家 族 支 援 看 護 学	小児健康看護学概論	2		}	選 択 科 目 1 4 単 位 以 上
		小児看護援助論	2			
		母性健康看護学概論	2			
		母性看護援助論	2			
		ウイメンズヘルス		1		
		助産学概論		1		
		助産管理		1		
		妊娠期の助産診断技術学		2		
		産褥・新生児の助産診断技術学		2		
		地域母子保健		1		
		分娩期の助産診断学		2		
		分娩期の助産技術学		2		
	生 活 支 援 看 護 学	地域・在宅看護論	2		}	
		老年健康看護学概論	2			
		老年看護援助論	2			
		在宅看護学概論	2			
		在宅看護援助論	2			
		公衆衛生看護学概論		2		
		公衆衛生看護展開論		2		
		公衆衛生看護方法論 I (個人・家族・集団の支援技術)		1		
		公衆衛生看護方法論 II(地域診断)		2		
		地域ケアシステム論		1		
	公衆衛生看護管理論		2			
	総 合 看 護	国際看護論	1		}	
		災害看護論		1		
		看護研究方法	2			
		実践看護学特演		3		
		卒業研究	4			

別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等			授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
				必修	選択		
専門 教育 科目	専門 科目	看護学 実習	地域ふれあい実習	1			
			基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1			
			基礎看護学実習Ⅱ(看護援助過程)	2			
			急性看護学実習	3			
			慢性看護学実習	3			
			精神看護学実習	2			
			小児看護学実習	2			
			母性看護学実習	2			
			老年看護学実習	2			
			在宅看護学実習Ⅰ	1			
			在宅看護学実習Ⅱ	1			
			助産学実習		7		
			公衆衛生看護学実習		4		
			統合看護実習	3			

別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
基盤教育科目	ベーシックス K U I S S	評価と実践Ⅰ	1	1	} 必修科目含み 4単位以上		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習					
		初年次セミナー	1				
		学習技術	1				
		リサーチ入門	1				
	コモンベシックス	第1外国語	基礎英語	2	1	} 必修科目含み 6単位以上	
			総合英語Ⅰ	2			
			総合英語Ⅱ	2			
			オーラルイングリッシュⅠ				
			オーラルイングリッシュⅡ	1			
			オーラルイングリッシュⅢ	1			
			インテンシブイングリッシュⅠ	1			
			インテンシブイングリッシュⅡ	1			
		第2外国語	中国語Ⅰ		2		
			中国語Ⅱ		2		
情報	ICTリテラシー データサイエンス	ICT活用A	2	2	} 必修科目含み 2単位以上		
		ICT活用B	2				
		ICT活用C	2				
		ICT活用C	2				
ポーツ	健康とスポーツ	生涯スポーツⅠ		1			
		生涯スポーツⅡ		1			
リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ	2	2	} 必修科目含み 4単位以上		
		人間学Ⅱ	2				
		倫理と社会生活					
		比較宗教論	2				
	社会と生活	近現代の歴史 社会階層と文化 国際社会と政治 日本国憲法			2	} 2単位以上	
					2		
					2		
	科学と生活	環境と生活 生命と倫理 情報と社会 食と健康 グローバルヘルス			2	} 2単位以上	
					2		
				2			
				2			
				2			
リベラルアーツ	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ		1			
		グローバルスタディⅡ		2			
		グローバルスタディⅢ		3			
		地域研究(北米圏)		2			
		地域研究(アジア圏)		2			
		日本文化論		2			
	ボランティア論		2				
コミュニティ	災害と安全 地域防災減災論			2			
				2			

ただし、専門教育科目92単位以上、基盤教育科目20単位以上を修得し、その他14単位の計126 単位以上を修得しなければならない。

別表第1-6 社会学部社会学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
		必修	選択			
基礎科目	社会学基礎Ⅰ	2		} 必修14単位 } 選択必修2単位		
	情報倫理	2				
データサイエンス入門	2					
情報リテラシー	2					
社会学基礎Ⅱ	2					
基礎統計学	2					
社会調査論	2					
社会調査法		2				
情報ネットワーク演習		2				
専門 教 育 科 目	社会統計学	2			} 必修4単位 } 選択必修46単位	
	データ解析Ⅰ	2				
	マーケティング		2			
	システム思考		2			
	デザイン思考		2			
	神戸の社会と文化		2			
	情報社会学		2			
	マスコミ論		2			
	サブカルチャー論		2			
	メディア文化論		2			
	ソーシャルメディア論		2			
	地域社会学		2			
	文化人類学		2			
	労働社会学		2			
	消費行動・消費社会論		2			
	商品企画論		2			
	文化社会学		2			
	福祉社会論		2			
	家族社会学		2			
	ソーシャルデザイン論		2			
	社会病理学		2			
	社会階層論		2			
	ジェンダー論		2			
	NPO・NGO論		2			
	環境社会学		2			
	多文化共生論		2			
	相互行為・社会関係論		2			
	政治社会学		2			
	データベース基礎		2			
	情報セキュリティ論		2			
	データ構造とアルゴリズム		2			
	情報科学		2			
情報管理論		2				
ヒューマンインターフェース		2				
ソフトウェア工学基礎		2				
人工知能の基礎		2				
クラウドコンピューティング		2				
情報と職業		2				
展 開 科 目	データ解析Ⅱ		2	} 選択19単位以上		
	質的調査法		2			
	社会調査演習		4			
	プロダクトデザイン実践演習		2			
	ソーシャルデザイン実践演習Ⅰ		2			
	ソーシャルデザイン実践演習Ⅱ		2			
	画像処理演習		2			
	ウェブプログラミング演習Ⅰ		2			
	ウェブプログラミング演習Ⅱ		2			
	Pythonプログラミング演習		2			
	ウェブデザイン総合演習		2			
	データサイエンス論		2			
データサイエンス実践演習		2				
教育学概論		2				

別表第1-6 社会学部社会学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数			備 考
			必修	選択				
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	教職概論		2	}			自由科目
		教育社会学		2				自由科目
		学校経営論		2				自由科目
		教育制度論		2				自由科目
		教育心理学		2				
		発達心理学		2				
		特別支援教育基礎		1				自由科目
		教育課程論		2				自由科目
		総合的な学習の時間の指導法		1				自由科目
		特別活動の指導法		2				自由科目
		教育方法論		2				自由科目
		教育相談		2				
		生徒・進路指導論		2				自由科目
		ボランティア実習		2				自由科目
		道徳教育の指導法		2				自由科目
		情報科指導法Ⅰ		2				自由科目
		情報科指導法Ⅱ		2				自由科目
		教育実習Ⅰ		5				自由科目
		教育実習Ⅱ		3				自由科目
		教職実践演習		2				自由科目
ICT活用(eラーニング)		2	自由科目					
総 合 演 習		専門演習Ⅰ	2	}	必修14単位			
		専門演習Ⅱ	2					
		専門演習Ⅲ	2					
		専門演習Ⅳ	2					
		卒業研究Ⅰ	2					
		卒業研究Ⅱ	2					
		卒業論文・制作	2					

別表第1-6 社会学部社会学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
基盤教育科目	K U I S S S ベーシック ス	評価と実践Ⅰ	1		} 必修9単位		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習		1			
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅱ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅲ		2			
		初年次セミナー	1				
		基礎演習	1				
		学習技術	1				
	コ モ ン ベ ー シ ツ ク ス	第1外国語 (英語)	基礎英語		2	} 選択必修 8単位以上 (第1外国語から 5単位以上) (留学生は選択科目)	
			総合英語Ⅰ		2		
			総合英語Ⅱ		2		
			オーラルイングリッシュⅠ		1		
			オーラルイングリッシュⅡ		1		
			オーラルイングリッシュⅢ		1		
			インテンシブイングリッシュⅠ		1		
			インテンシブイングリッシュⅡ		1		
			英語Ⅰ		4		
	英語Ⅱ		4				
基盤教育科目	(そ の 他 の 外 国 語)	中国語Ⅰ		2	}		
		中国語Ⅱ		2			
		韓国・朝鮮語Ⅰ		2			
		韓国・朝鮮語Ⅱ		2			
	コ モ ン ベ ー シ ツ ク ス	留 学 生 対 象 の 日 本 語	日本語Ⅰ		2	} 選択必修10単位以上 日本語能力試験N1 の合格者は10単位中 2単位を認定、8単位 履修	
			日本語Ⅱ		2		
			日本語Ⅲ		2		
			日本語Ⅳ		2		
			日本語Ⅴ		2		
			アカデミック日本語Ⅰ		1		
			アカデミック日本語Ⅱ		1		
			日本語ライティングⅠ		1		
			日本語ライティングⅡ		1		
			ビジネス日本語Ⅰ		1		
			ビジネス日本語Ⅱ		1		
			専門日本語Ⅰ		1		
	専門日本語Ⅱ		1				
	情 報	ス ポ ー ツ と 健 康	ICT活用A		2		
			ICT活用B		2		
			ICT活用C		2		
コ モ ン ベ ー シ ツ ク ス	人 間 の 理	生涯スポーツⅠ		1	} 必修4単位		
		生涯スポーツⅡ		1			
		人間学Ⅰ	2				
		人間学Ⅱ	2				
		倫理と社会生活 教育と人間形成		2			

別表第1-6 社会学部社会学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考		
			必修	選択				
リベラル アーツ	解	比較宗教論		2	}			
		人権と法		2				
	社会と生活	近現代の歴史		2			選択必修2単位以上	
		社会階層と文化		2				
		国際社会と政治		2				
		日本国憲法		2				
	科学と生活	環境と生活		2			選択必修2単位以上	
		生命と倫理		2				
		食と健康		2				
	グ ロ ー バ ル ス タ デ イ	グローバルスタディⅠ		1				※ ※ ※ ※
		グローバルスタディⅡ		2				
		グローバルスタディⅢ		3				
		グローバルスタディⅣ		4				
		地域研究(北米圏)		2				
地域研究(アジア圏)			2					
日本事情			2					
日本文化論			2					
基盤教育科目	リベラル アーツ	サービスラーニングA		1	}	※ ※		
		サービスラーニングB		2				
		ボランティア論		2				
		災害と安全		2				
		地域防災減災論		2				
	特別研究	特別研究Ⅰ		1				
		特別研究Ⅱ		2				
		特別研究Ⅲ		3				
		特別研究Ⅳ		4				

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。(自由科目を除く)

※を付した科目から2単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-7 国際コミュニケーション学部観光学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
		必修	選択			
専 門 教 育 科 目	基礎科目	観光学概論 観光産業概論 経営学概論 統計学 経済学概論	2 2 2 2	2	} 必修8単位	
	(基幹科目)	英語基礎1 リーディング・ライティング1 オーラル・コミュニケーション1 英語基礎2 リーディング・ライティング2 オーラル・コミュニケーション2 英語総合1 リーディング・ライティング3 アドバンスト・コミュニケーション1	2 1 2 2 1 2 2 1 2			} 必修15単位
	(共通科目)	マーケティング論 マーケットリサーチ 日本の文化 異文化理解 発想法 ホスピタリティマネジメント セイフティマネジメント	2 2 2 2 2 2		} 必修14単位	
	(専攻コア)	旅行産業論 ビジネスモデル・デザイン ビジネスモデル・アセスメント ホテル産業論 セレモニー産業論 サービス・ブランディング 航空産業論 航空実務 空港業務		2 2 2 2 2 2 2 2 2		} 選択必修6単位以上
	(共通選択科目)	ファイナンス ビジネス統計学 英語総合2 リーディング・ライティング4 アドバンスト・コミュニケーション2 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ インテンシブイングリッシュⅠ インテンシブイングリッシュⅡ インテンシブイングリッシュⅢ リーディング・ライティング総合1 リーディング・ライティング総合2 リーディング・ライティング総合3 リーディング・ライティング総合4 ホテル実務英語Ⅰ ホテル実務英語Ⅱ エアライン実務英語Ⅰ エアライン実務英語Ⅱ 旅行業実務英語Ⅰ 旅行業実務英語Ⅱ 観光ビジネス英語Ⅰ 観光ビジネス英語Ⅱ		2 2 2 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	展開科目	思考法 消費者心理 イノベーション論 ベンチャービジネス論 DMO論 デジタルマーケティングA		2 2 2 2 2 2		
		デジタルマーケティングB eコマース ビジネスプレゼンテーション1 ビジネスプレゼンテーション2 プロジェクトマネジメント論 ローカルプロダクトデザイン論		2 2 2 2 1 2		

別表第1-7 国際コミュニケーション学部観光学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	コミュニティビジネス	2	展開科目から 32単位以上	選択21単位以上
		観光まちづくり論	2		
		地域観光インパクト論	2		
		危機管理論	2		
		観光地理	2		
		観光政策論	2		
		インバウンド・ツーリズム産業論	2		
		エアライン特別演習Ⅰ	2		
		エアライン特別演習Ⅱ	2		
		エアライン特別演習Ⅲ	2		
		エアライン特別演習Ⅳ	2		
		エアライン特別実習Ⅰ	2		
		エアライン特別実習Ⅱ	2		
		ビジネスマナー	2		
		観光イベント論	2		
		ツアープランニング	2		
		ホスピタリティ・コーチング	2		
		プロトコル特別演習	2		
		ホテル実務	2		
		ブライダルビジネス論	2		
		ブライダル実務	2		
		アミューズメントパーク論	2		
		観光施設デザイン論	2		
		MICE・IR概論	2		
		MICE・IR特別演習	2		
		流通産業論	2		
		観光交通システム論	2		
		トラベルエージェント論	2		
		旅行業演習Ⅰ	2		
		旅行業演習Ⅱ	2		
		旅行業法・旅行業約款特別演習	2		
		ツーリズム・プロデューサー特別演習	2		
		食品衛生管理	2		
		国際経営論	2		
国際地政学	2				
ツーリズムモデルⅠ	2				
ツーリズムモデルⅡ	2				
日本のポップカルチャー	2				
日本の伝統文化	2				
日本の食文化	2				
フードビジネス論	2				
文化資源の活用と保全	2				
自然資源の活用と保全	2				

別表第1-7 国際コミュニケーション学部観光学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	キャリアプランニング I		2	} (※)	
		キャリアプランニング II		2		
		インターンシップ I		1		
		インターンシップ II		2		
		インターンシップ IV		4		
		グローバルリサーチ		16		
		上級日本語 I		1		
		上級日本語 II		1		
		資格日本語 I		1		
		資格日本語 II		1		
		観光日本語 I		1		
		観光日本語 II		1		
		中国語基礎1		2		
		中国語基礎2		2		
		中国語コミュニケーション1		2		
		中国語コミュニケーション2		2		
		中国語リーディング I		2		
		中国語ライティング I		2		
		中国語リスニング I		2		
		中国語アドバンスト・コミュニケーション I		2		
中国語リーディング II		2				
中国語ライティング II		2				
中国語リスニング II		2				
中国語アドバンスト・コミュニケーション II		2				
総 合 演 習	プロジェクト・マネジメント演習 I	2		} 必修12単位		
	プロジェクト・マネジメント演習 II	2				
	プロジェクト・マネジメント演習 III	2				
	プロジェクト・マネジメント演習 IV	2				
	卒業研究(課題研究)	4				
基 盤 教 育 科 目	K U I S S シ ツ ク ス	評価と実践 I	1		} 必修8単位	
		評価と実践 II	1			
		リーダーシップ演習		1		
		仕事とキャリア形成 I	2			
		仕事とキャリア形成 II		2		
		仕事とキャリア形成 III		2		
		初年次セミナー	1			
		基礎演習	1			
		学習技術	1			
		リサーチ入門	1			
コ モ ン ベ ー シ ツ ク ス	第 2 外 国 語	韓国・朝鮮語 I		2		
		韓国・朝鮮語 II		2		
		ベトナム語		2		
		マレー語		2		
		インドネシア語		2		
留 学		日本語 I		2	} 選択必修8単位以上 日本語能力試験N1 の合格者は、日本語	
		日本語 II		2		
		日本語 III		2		
		日本語 IV		2		
		日本語 V		2		
		アカデミック日本語 I		1		

別表第1-7 国際コミュニケーション学部観光学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考						
			必修	選択								
基 盤 教 育 科 目	コ モ ン ベ ー シ ッ ク ス	生 対 象	アカデミック日本語Ⅱ 日本語ライティングⅠ 日本語ライティングⅡ ビジネス日本語Ⅰ ビジネス日本語Ⅱ 専門日本語Ⅰ 専門日本語Ⅱ		1 1 1 1 1 1 1	を母語または第一言 語とする者と同じ扱い とする(留学生対象日 本語科目の必修要件 を適用しない)						
		情 報	ICTリテラシー データサイエンス ICT活用A ICT活用B ICT活用C	2			2 2 2 2	} 必修2単位				
			ス ポ ー ツ	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ					1 1			
				人 間 の 理 解	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 倫理と社会生活 比較宗教論 人権と法		2 2			2 2 2 2	} 必修4単位	
			社 会 と 生 活		近現代の歴史 社会階層と文化 国際社会と政治 日本国憲法					2 2 2 2		} 選択必修2単位以上
					科 学 と 生 活		環境と生活 生命と倫理 情報と社会					
		グ ロー バ ル ス タ ディ					グローバルスタディⅠ グローバルスタディⅡ グローバルスタディⅢ 地域研究(北米圏) 地域研究(アジア圏)			1 2 3 2 2		
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン			サービスラーニングⅠ サービスラーニングⅡ ボランティア論 災害と安全 地域防災減災論				2 2 2 2 2				
			特 別 研 究	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ			1 2 3 4					

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、
126 単位以上を修得しなければならない。(自由科目を除く)

(※)展開科目群「インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅳ」または「グローバルリサーチ」、もしくはグローバルスタディ科目群「グローバルスタディⅠ～Ⅲ」のいずれかを取得すること。

別表第2-1~11 削除

別表第2-12

教育の基礎的理解に関する科目(心理学部心理学科)
[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2		} 1科目 } 以上 } 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学 発達心理学		2 2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-12-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(心理学部心理学科)
[中学校・社会]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法		2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						

別表第2-12-3

教育実践に関する科目(心理学部心理学科)
[中学校・社会]

教育実習	7	教育実習 I		5		
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2		

別表第2-13

教育の基礎的理解に関する科目(心理学部心理学科)
[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 } 以上 } 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学		2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		
			発達心理学		2	

別表第2-13-2

道徳、総合的な探求の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(心理学部心理学科)
[高等学校・公民]

総合的な探求の時間の指導法	9	総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		

別表第2-13-3

教育実践に関する科目(心理学部心理学科)
[高等学校・公民]

教育実習	5	教育実習 I		5	} 1科目以上 } 選択
		教育実習 II		3	
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2	

別表第2-14

教科及び教科の指導法に関する科目(心理学部心理学科)
[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本史・外国史	32	日本史概説 外国史概説 日本文化史	近代社会論	2 2 2	2	
地理学 (地誌を含む)		地理学 人文地理	地域民俗論	2 2	2	
法律学 政治学		法律学概論 国際社会と政治	人権と法	2 2	2	
社会学 経済学		社会学概論 経済学	現代社会論 現代家族論 国際経済論 マーケティング 犯罪学概論	2 2 2 4 2	2 2 2 4 2	
哲学 倫理学 宗教学		比較宗教論 倫理と社会生活	生命と倫理	2 2	2	
各教科の指導法(情報 通信技術の活用を含 む。)		社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ 社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ		2 2 2 2		

別表第2-15

教科及び教科の指導法に関する科目(心理学部心理学科)
[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
法律学 (国際法を含む) 政治学 (国際政治を含む)	24	法律学概論 国際社会と政治	人権と法	2 2	2	
社会学、経済学 (国際経済を含む)		社会学概論	現代社会論 現代家族論	2	2 2	
		経済学 国際経済論	マーケティング 犯罪学概論	2 2	4 2	
哲学 倫理学 宗教学 心理学		倫理と社会生活	生命と倫理	2	2	
各教科の指導法(情報 通信技術の活用を含 む。)	心理学概論		4			
	社会科・公民科教育法 I 社会科・公民科教育法 II		2 2			

別表第2-16

大学が独自に設定する科目(心理学部心理学科)
[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する 科目	4		ボランティア論 ボランティア実習 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論	2 2 2 2		

別表第2-12(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-12-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-12-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-14(教科及び教科の指導法に関する科目)の28単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、4単位以上を履修しなければならない。

別表第2-17

大学が独自に設定する科目(心理学部心理学科)

[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12		ボランティア論 ボランティア実習 道徳教育の指導法 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論		2 2 2 2 2 2	

別表第2-13(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-13-2(道徳、総合的な探求の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-13-3(教育実践に関する科目)の23単位を超えて履修した科目及び別表第2-15(教科及び教科の指導法に関する科目)の24単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、12単位以上を履修しなければならない。

別表第2-18

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(心理学部心理学科)

[中学校・社会][高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		1 1		
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ		1 1 1 2 2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	ICTリテラシー		2		

別表第2-19~22 削除

別表第2-23

教育の基礎的理解に関する科目 (国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	発達心理学	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-23-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 (国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[中学校・英語]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法		2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		

別表第2-23-3

教育実践に関する科目 (国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[中学校・英語]

教育実習	7	教育実習 I		5		
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2		

別表第2-24

教育の基礎的理解に関する科目 (国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2		} 1科目以上 } 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学		2 2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-24-2

道徳、総合的な探求の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 (国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

総合的な探求の時間の指導法	9	総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育相談		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		
生徒指導の理論及び方法						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						

別表第2-24-3

教育実践に関する科目 (国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

教育実習(学校インターンシップ(学校体験活動)を2単位まで含むことができる。)	5	教育実習 I		5	} 1科目以上 } 上選択
		教育実習 II		3	
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2	

別表第2-25

教科及び教科の指導法に関する科目(国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
英語学	28	英語音声学		2		
		英語学Ⅰ		2		
		英語学Ⅱ		2		
英語文学		英米文学概論		2		
英語コミュニケーション		英語総合1		2		
		リーディング総合1		2		
		ライティング総合1		2		
		アドバンスト・コミュニケーション1		2		
異文化理解		異文化理解		2		
		言語と文化		2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		英語科教育法Ⅰ		2		
		英語科教育法Ⅱ		2		
		英語科教育法Ⅲ		2		
		英語科教育法Ⅳ		2		

別表第2-26

教科及び教科の指導法に関する科目(国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
英語学	28	英語音声学		2		
		英語学Ⅰ		2		
		英語学Ⅱ		2		
英語文学		英米文学概論		2		
英語コミュニケーション		英語総合1		2		
		リーディング総合1		2		
		ライティング総合1		2		
		アドバンスト・コミュニケーション1		2		
異文化理解		異文化理解		2		
		言語と文化		2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		英語科教育法Ⅰ		2		
		英語科教育法Ⅱ		2		
		英語科教育法Ⅲ		2		
		英語科教育法Ⅳ		2		

別表第2-27

大学が独自に設定する科目(国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4		ボランティア論 ボランティア実習 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論	2 2 2 2		

別表第2-23(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-23-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-23-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-25(教科及び教科の指導法に関する科目)の28単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、4単位以上を履修しなければならない。

別表第2-28

大学が独自に設定する科目(国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12		ボランティア論 ボランティア実習 道徳教育の指導法 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論	2 2 2 2 2 2		

別表第2-24(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-24-2(道徳、総合的な探求の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-24-3(教育実践に関する科目)の23単位を超えて履修した科目及び別表第2-26(教科及び教科の指導法に関する科目)の24単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、12単位以上を履修しなければならない。

別表第2-29

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科)
[中学校・英語][高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		1 1		
外国語コミュニケーション	2		総合英語Ⅰ アドバンスト・コミュニケーション2 オーラル・コミュニケーション1 オーラル・コミュニケーション2		2 2 2 2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	ICTリテラシー		2		

別表第2-30

教育の基礎的理解に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)
[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	15	教育学概論	公教育論	2	2	
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	教職特論	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			学校経営論 教育制度論		2 2	} 1科目以上選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学	こども発達学	2 2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論 保育課程論		2 2		

別表第2-30-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

	6		幼児教育方法論		2	
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論 (情報通信技術の活用を含む)		2		
幼児理解の理論及び方法		幼児理解		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		

別表第2-30-3

教育実践に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

教育実習	7	幼稚園教育実習 I		2	2	
		幼稚園教育実習 II				
		幼稚園教育実習事前事後指導		1		
教職実践演習		教職実践演習(幼)		2		

別表第2-31

領域及び保育内容の指導法に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考	
		必修科目	選択科目	単位数			
				必修	選択		
健康	16	こどもと健康		1			
人間関係		こどもと人間関係		1			
環境		こどもと環境		1			
言葉		こどもと言葉		1			
表現		こどもと表現		1			
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		幼児指導法	保育内容総論		1	2	
			健康(指導法)		2		
	人間関係(指導法)			2			
	環境(指導法)			2			
	言葉(指導法)			2			
	表現(指導法) I			1			
表現(指導法) II		1					

別表第2-32

大学が独自に設定する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	14		ボランティア論 ボランティア実習 道徳教育の指導法 心理学概論Ⅰ 社会学概論 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論 防災教育 障害児保育Ⅰ 障害児保育Ⅱ 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 社会的養護内容 保育相談支援 社会的養護		2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 2	
別表第2-30(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-30-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-30-3(教育実践に関する科目)の21単位を超えて履修した科目及び別表第2-31(領域及び保育内容の指導法に関する科目)の16単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、14単位以上を履修しなければならない。						

別表第2-33

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2		体育講義 生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		2 1 1	
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ		1 1 1 2 2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2		初等情報機器活用論 ICTリテラシー		2 2	

別表第2-34

教育の基礎的理解に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	13	教育学概論	公教育論	2	2	
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	教職特論	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			学校経営論 教育制度論		2 2	} 1科目以上選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学	こども発達学	2 2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-34-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)
[小学校]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法	2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法	2		
教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					

別表第2-34-3

教育実践に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)
[小学校]

教育実習(学校インターンシップ(学校体験活動)を2単位まで含むことが出来る。)	7	小学校教育実習 I	2	2	
		小学校教育実習 II	1		
		教育実習事前事後指導			
教職実践演習		教職実践演習(小)	2		

別表第2-35

教科及び教科の指導法に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
国語	30	国語Ⅰ (書写含む)	国語Ⅱ	2	2	
社会			社会Ⅰ 社会Ⅱ		2 2	
算数		算数Ⅰ	算数Ⅱ	2	2	
理科			理科Ⅰ 理科Ⅱ		2 2	
生活			生活		2	
音楽		音楽Ⅰ・器楽 音楽Ⅱ・器楽	音楽Ⅲ・伴奏法	1 1	1	
図画工作		造形Ⅰ	造形Ⅱ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ	1	1 1 1	
家庭			家庭		2	
体育		体育指導Ⅰ 体育指導Ⅱ		1 1		
外国語		外国語		2		
各教科の指導法(情報 通信技術の活用を含 む。)		初等国語科教育法 (書写含む) 初等社会科教育法 初等算数科教育法 初等理科教育法 初等音楽科教育法 初等図画工作科教育法 初等家庭科教育法 初等体育科教育法 外国語の指導法	初等生活科教育法	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2	

別表第2-36

大学が独自に設定する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	2		ボランティア論 ボランティア実習 社会学概論 心理学概論Ⅰ 教育と人間形成 災害と安全 防災教育 地域防災減災論		2 2 2 2 2 2 2 2	
別表第2-34(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-34-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-34-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-35(教科及び教科の指導法に関する科目)の30単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、2単位以上を履修しなければならない。						

別表第2-37

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2		体育講義 生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		2 1 1	
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ		1 1 1 2 2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2		初等情報機器活用論 ICTリテラシー		2 2	

別表第2-38 削除

別表第2-39

特別支援教育に関する科目(教育学部教育福祉学科)

[特別支援学校教諭・知的障害者、肢体不自由、病弱者の教育に関する領域]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	障害者教育総論		2		
特別支援教育領域に関する科目	16	知的障害者の心理・生理・病理		2		
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2		
		病弱者の心理・生理・病理		2		
		知的障害教育	知的障害者の言語障害指導 知的障害者の自立活動の理論と実際 知的障害児における情報機器等の活用と指導	2	2 2 2	
		肢体不自由教育		2		
		病弱教育		2		
			知的障害教育総論 肢体不自由教育総論 病弱教育総論		2 2 2	1科目選択必修
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	6	聴覚障害・視覚障害教育総論	障害児教育論	2	2	
		重複障害教育総論		2		
		LD等教育総論		2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	教育実習(特別支援学校)		3		

別表第2-40

教育の基礎的理解に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学		2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		
			発達心理学		2	

別表第2-40-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[中学校・英語]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法		2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						

別表第2-40-3

教育実践に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[中学校・英語]

教育実習	7	教育実習 I		5		
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2		

別表第2-41

教科及び教科の指導法に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
英語学	28	英語音声学Ⅰ		2		
		英語音声学Ⅱ			2	
		英語学Ⅰ		2		
		英語学Ⅱ		2		
英語文学		英米文学概論		2		
英語コミュニケーション		英語総合1		2		
		リーディング総合1		2		
		ライティング総合1		2		
		アドバンスト・コミュニケーション1		2		
異文化理解		異文化理解		2		
	文化人類学		2			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ		2			
	英語科教育法Ⅱ		2			
	英語科教育法Ⅲ		2			
	英語科教育法Ⅳ		2			

別表第2-42

大学が独自に設定する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4		ボランティア論		2	
			ボランティア実習	2		
			教育と人間形成		2	
			災害と安全		2	
			地域防災減災論		2	

別表第2-40(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-40-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-40-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-41(教科及び教科の指導法に関する科目)の28単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、4単位以上を履修しなければならない。

別表第2-43

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		1 1		
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ		1 1 1 2 2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	ICTリテラシー		2		

別表第2-44

教育の基礎的理解に関する科目(経営学部経営学科)

[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 } 以上 } 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学		2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		発達心理学			2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-44-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(経営学部経営学科)

[中学校・社会]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法	2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法	2		
教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					

別表第2-44-3

教育実践に関する科目(経営学部経営学科)

[中学校・社会]

教育実習	7	教育実習 I	5		
教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2		

別表第2-45

教育の基礎的理解に関する科目(経営学部経営学科)

[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学		2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-45-2

道徳、総合的な探求の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(経営学部経営学科)

[高等学校・公民]

総合的な探求の時間の指導法	9	総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法	2		
教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育相談	2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		
生徒指導の理論及び方法					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					

別表第2-45-3

教育実践に関する科目(経営学部経営学科)

[高等学校・公民]

教育実習	5	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ		5 3	} 1科目以上選択
教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2		

別表第2-46

教科及び教科の指導法に関する科目(経営学部経営学科)

[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本史・外国史	34	日本史概説 外国史概説 日本文化史	近代社会論	2 2 2	2	
地理学 (地誌を含む)		地理学 人文地理		2 2		
法律学 政治学		法律学概論 国際社会と政治	人権と法	2 2	2	
社会学 経済学		経済学概論 マーケティング	国際経済論 経営学概論 ファイナンス	4 4	2 4 4	
哲学 倫理学 宗教学		倫理と社会生活 生命と倫理		2 2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ 社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ		2 2 2 2		

別表第2-47

教科及び教科の指導法に関する科目(経営学部経営学科)
[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
法律学 (国際法を含む) 政治学 (国際政治を含む)	22	法律学概論	人権と法	2	2	
国際社会と政治		2				
社会学、経済学 (国際経済を含む)		経済学概論	ファイナンス	4	4	
		国際経済論		2		
		マーケティング		4		
経営学概論	4					
哲学 倫理学 宗教学 心理学	倫理と社会生活		2			
	生命と倫理		2			
各教科の指導法(情報 通信技術の活用を含 む。)	社会科・公民科教育法Ⅰ		2			
	社会科・公民科教育法Ⅱ		2			

別表第2-48

大学が独自に設定する科目(経営学部経営学科)
[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する 科目	4		ボランティア論 ボランティア実習 災害と安全 地域防災減災論	2 2 2		

別表第2-44(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-44-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-44-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-46(教科及び教科の指導法に関する科目)の28単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、4単位以上を履修しなければならない。

別表第2-49

大学が独自に設定する科目(経営学部経営学科)

[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12		ボランティア論 ボランティア実習 道徳教育の指導法 災害と安全 地域防災減災論		2 2 2 2 2	
別表第2-45(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-45-2(道徳、総合的な探求の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-45-3(教育実践に関する科目)の23単位を超えて履修した科目及び別表第2-47(教科及び教科の指導法に関する科目)の24単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、12単位以上を履修しなければならない。						

別表第2-50

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(経営学部経営学科)

[中学校・社会][高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2	生涯スポーツⅠ		1		
		生涯スポーツⅡ		1		
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ		1	
			オーラルイングリッシュⅡ		1	
			オーラルイングリッシュⅢ		1	
			基礎英語		2	
			総合英語Ⅰ		2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	ICTリテラシー		2		

別表第2-51
 教育の基礎的理解に関する科目(社会学部社会学科)
 [高等学校・情報]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 2科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学 発達心理学		2 2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-51-2
 道徳、総合的な探求の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(社会学部社会学科)
 [高等学校・情報]

総合的な探求の時間の指導法	8	総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)		2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育相談		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		
生徒指導の理論及び方法						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						

別表第2-51-3
 教育実践に関する科目(社会学部社会学科)
 [高等学校・情報]

教育実習	5		教育実習 I 教育実習 II		5 3	} 1科目以上 選択
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2		

別表第2-52

教科及び教科の指導法に関する科目(社会学部社会学科)

[高校・情報]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
情報社会・情報倫理	24	情報倫理		2		
		情報社会学		2		
コンピュータ・情報処理(実習を含む。)		情報科学		2		
		データ構造とアルゴリズム	ソフトウェア工学基礎		2	
情報システム(実習を含む。)		データベース基礎		2		
		ウェブプログラミング演習 I	データサイエンス論		2	
情報通信ネットワーク(実習を含む。)		情報ネットワーク演習		2		
		情報とセキュリティ論		2		
マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。)			画像処理演習	2	} 2科目 以上 選択	
			データサイエンス実践演習	2		
			Pythonプログラミング演習	2		
			ウェブプログラミング演習 II	2		
情報と職業		情報と職業		2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		情報科指導法 I		2		
		情報科指導法 II		2		

別表第2-53

大学が独自に設定する科目(社会学部社会学科)

[高校・情報]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12		ボランティア論		2	
			ボランティア実習		2	
			道德教育の指導法		2	
			災害と安全		2	
			地域防災減災論		2	

別表第2-51(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-51-2(道德、総合的な探求の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-51-3(教育実践に関する科目)の23単位を超えて履修した科目及び別表第2-52(教科及び教科の指導法に関する科目)の24単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、12単位以上を履修しなければならない。

別表第2-54

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(社会学部社会学科)

[高校・情報]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		1 1		
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ		1 1 1 2 2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー		2		

別表第3

費目 学部・学科		入学 検定料	学 費			
			入学金	授業料 (年額)	教育改善費 (年額)	教材費 (年額)
経営学部	経営学科	円 35,000	円 300,000	円 857,000	円 262,000	円 40,000
心理学部	心理学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
教育学部	教育福祉学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
国際コミュニ ケーション学部	グローバルコ ミュニケーショ ン学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
	観光学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
保健医療学部	看護学科	35,000	300,000	1,278,000	262,000	40,000
社会学部	社会学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000